

Istanbul Weekly vol.5-no.20

イスタンブール ウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2016年6月3日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：第 65 代ユルドゥルム新内閣がスタート。
 県知事の異動人事でイズミル、ブルサなど 50 県知事が交代。
- 経済**：貿易赤字、引き続き減少。
 4 月のトルコ訪問客数、1999 年 5 月以来最低に。
- 治安**：有志連合軍と SDF の侵攻で 30 万人がラッカから避難へ。
 ISIL ドゥルマズ・グループのセルのメンバーは 29 人。
- 軍事**：米軍と PYD がトルコ国境沿いの ISIL 支配地域の掃討作戦を実施、トルコは参加せず。
 国際共同演習エフェス 2016 開始。
- 社会**：イスタンブール市、無料駐輪場を設置。
 エユップ・スルタン・モスクでラマザンの準備。

政治

【内政】

●第 65 代ユルドゥルム内閣がスタート

5 月 29 日、国会本会議において、第 65 代ユルドゥルム内閣に対する信任投票が行われ、投票総数 453 票の内、AKP による 315 票の賛成多数で成立した。信任投票の成立を受けてユルドゥルム首相は、全閣僚とアタテュルク廟を訪問するとともに、今後は国民のための政府として、2023 年の建国 100 年を目指して歩み続ける旨述べた。(5 月 30 日付 M 紙 1 面)

●MHP 臨時党大会を巡る混乱が続く

司法の決定を受けて 7 月 10 日の臨時党大会開催を決めた MHP で混乱が続いている。反執行部派は、党首選に先立って党内規の変更のための臨時党大会を 6 月 19 日に開催することを求める一方、執行部側はこれを全面的に拒否し、党大会前の反執行部派に対する除名処分の構えを見せて牽制するなど、対立が深まっている。(6 月 1 日付 M 紙インターネット版)

●県知事の異動人事でイズミル、ブルサなど 50 県知事が交代。

1 日付で県知事の異動人事が官報に掲載され、内務大臣によって任命される全 81 県の県知事の内、半分以上にあたる 50 の県知事が交代した。トブラック・イズミル県知事がマラトヤ県知事に、アイユルドゥズ・アイドゥン県知事がイズミル県知事に、カルルオール・ブルサ県知事がアンタルヤ県知事に、キュチュック・シャンルウルファ県知事がブルサ県知事にそれぞれ異動した。また、史上 4 人目となる女性知事として、ユルマズ・ヤロヴァ県知事（最年少 39 歳）が誕生した。

(6 月 2 日付 C 紙 7 面)

【外交】

●エルドアン大統領、アフリカ外遊でウガンダへ

1 日、エルドアン大統領はアフリカ外遊の一環で最初の訪問国となるウガンダに到着した。トルコの元首の同国訪問は初。ムセベニ大統領と会談し、二国間関係の強化を強調したエルドアン大統領は、国連安保理を巡る問題にも言及し、現在の常任理事国の構造を批判しつつ、常任理事国の「ローテーション制」を提案するとともに、自国の常任理事国入りを主張した。

(6 月 2 日付 H 紙 1 面)

●ドイツ国会でアルメニア人「虐殺」関連決議が採択、トルコが反発。

2 日、ドイツ国会で、オスマン帝国時代の 1915 年に大量のアルメニア人が死亡した出来事を「虐殺」と認める内容の法案を賛成多数で可決した。メルケル首相は票決を欠席した。これに対し、トルコ側は、直ちに駐ドイツ大使を召還して抗議するとともに、同日夜には国会で、同法案の採択を非難する決議案を採択するなど激しく反発した。(6 月 2 日付 M 紙インターネット版)

経済

【マクロ経済】

●トルコの GDP 今後 2 年間拡大へ

5 月 26 日、信用格付の S&P は、2016 年及び 2017 年のトルコの経済成長が 3.4%のペースで拡大すると予測。低い原油価格と多くの移民により、民間消費がトルコの経済成長の主要因となっていると分析した。他方、外資に依存している経済の脆弱性は問題であり、国内需要以外の部分での経済均衡を保つため、輸出を拡大する必要があると指摘。

(5 月 26 日付 AA 紙インターネット版)

●トルコの今年の経済成長は3.6%—フィッチ

5月26日、信用格付のフィッチは、トルコの2016年及び2017年の経済成長をそれぞれ3.6%、3.7%と予測。最低賃金引き上げや数多くのシリア難民による国内需要増加が主な成長要因とする一方で、観光収入の低下や輸出に関する厳しい環境がトルコ経済の重荷になるとした。(5月26日付AA紙インターネット版)

●貿易赤字、引き続き減少

統計庁の発表によると、トルコの4月の貿易赤字は前年同月比16.3%減少し42億ドルとなった。低い原油価格が主な要因。輸出は同10.2%減少し120億ドル、輸入は同11.9%減少し162億ドル。トルコの最大の輸入品目である鉱物性燃料は、同33.8%減少し2億ドルであった。(6月1日付HDN紙11面)

●5月の輸出、0.1%増加

トルコ輸出業者協会によると、5月のトルコの輸出は前年同月比0.1%増加し108億ドル。業種別にみると、自動車産業が同34%増加し19億8000万ドル、既製服は同6.2%増加し14億2000万ドルであったが、化学製品は17.7%減少した。最大の輸出先はドイツで、イギリス、イタリア、アメリカ、イラクが続く。過去12か月間の輸出は、前年同月比7.9%減少し1398億ドル。(6月1日付Daily Sabah紙インターネット版)

●トルコのアフリカへの輸出、急増

トルコ輸出業者協会のブユックエクシ会長は、トルコのアフリカへの輸出は、過去10年間で3倍の125億ドルになっていると発表。同会長はまた、アフリカへの輸出は将来性が大きく、今後より増加するとの見方を示した。(6月2日付TZ紙5面)

【経済政策】

●シムシェッキ副首相の一部所管業務がジャンクリ副首相へ移管

シムシェッキ副首相は、前内閣では経済全体を担当し経済改革を主導していたが、新内閣では商業金融や資本市場等の所管はジャンクリ副首相へ移管された。シムシェッキ副首相は財務省や中央銀行を引き続き監督する。(5月27日付HDN紙インターネット版)

【観光関連】

●4月のトルコ訪問客数、1999年5月以来最低に

5月27日に発表された観光省のデータによると、4月にトルコを訪れた外国人は前年同月比28%減少し175万人。1999年5月以来で最低となった。ロシア及び西欧からの訪問客が目立って減少している。国別にはドイツが25万人で首位、ジョージア(18万人)、ブルガリア(15万人)が続く。(5月27日付HDN紙インターネット版)

【エネルギー関連】

●第一四半期の電源別発電量割合

トルコの第一四半期の発電量は700億キロワット。電源別内訳は、石炭が306億キロワット(うち204億キロワットが国内産石炭によるもの)、天然ガスが214億キロワット、水力発電が174億キロワット、風力発電が36億キロワット。設備容量では、水力発電が35.4%で最も多く、ガス火力発電(28.6%)、石炭火力発電(21.5%)、風力発電(6.2%)が続く。(5月31日付HDN紙10面)

【企業等の動き】

●トルコの不良債権が増加傾向

5月30日、イシュ銀行のバリ会長は、トルコの銀行が不良債権にうまく対応しているにも関わらず、銀行部門での不良債権が明らかに増加しており、銀行部門に対して何らかの措置が取られるべきであると述べた。今年第一四半期の不良債権の割合は前年同期の2.8%から3.3%に上昇。中小企業については4.4%に上昇した。(5月31日付HDN紙10面)

●Paypal、トルコでの営業中止へ

5月30日、オンライン決済サービスのPaypalは、トルコの許可申請が却下されたため営業を停止すると発表。トルコの顧客は、6月6日付で同社のシステムを通じた送金及び受取ができなくなる。同社はトルコでの営業に必要な許可を得るため、引き続き努力する予定。(6月1日付HDN紙10面)

●トルコのICT部門、前年比18%増

イスタンブールに拠点を置く情報産業協会(TUBISAD)は、トルコの情報通信(ICT)部門の規模が2015年に前年比18%増加し280億ドルであったと発表。同部門は11万3000人を雇用し、7億4500万ドルの輸出を行った。同協会は、トルコにおけるICT関連支出は2017年までに300億ドルに達し、ICT業界は今後、年15%ペースで成長、2023年までに1600億ドルになると予想する。(5月31日付AA紙インターネット版)

【その他】

●何故投資家はトルコを好むのか

最近発表されたモルガン・スタンレーのレポートによると、外国人投資家は中東の緊張やトルコの新内閣成立にも関わらず、トルコの資産に対して中立的な姿勢をとっている。その理由として、①トルコのマクロ経済指標が他の新興国より良いこと、②シムシェッキ副首相が新内閣で留任となり、短期的には金融・財政方針が大幅に変わらない見込みとなったため市場が安心した、③リラ安による損失が国内投資家による外貨売却で相殺されうること、④トルコの政治に影響を及ぼす要因がない、の4点をあげた。(6月2日付Daily Sabah紙インターネット版)

治安

●有志連合軍とSDFの侵攻で30万人がラッカから避難へ

クルド勢力を中心とするSDF(シリア民主軍)と米国主導の対ISIL有志連合軍が、ISILが首都とするラッカへの侵攻作戦を開始する中、ラッカに居住する30万人の市民が避難を始めた。アナドル通信によると約30万の市民がラッカの北方や南方の街に向かい始めたという。匿名の米軍筋によると、ラッカとテル・アブヤドの間に所在する村々は、ISIL側との激しい戦闘の末に既にSDFによって奪還されたという。(5月27日付HT紙14面)

●67人のPKKメンバーが投降

5月26日、ヌサイビン県のフラット郡とイエニシェヒル郡において、PKK掃討作戦の結果、67名のPKK戦闘員が投降した。(5月27日付HT紙15面)

●スルチ郡警察本部長が職務怠慢で告訴

昨年7月20日シャンルウルフ県スルチ郡で発生したISILによるとされる左派系集会に対する自爆テロで30名以上が死亡した事件を受けて、スルチ郡の警察本部長が、事前に県警本部から重大テロの脅威情報・警告を受けていたにもかかわらず、適切な警備措置を講じなかったとして

告訴された。(5月27日付けHD紙インターネット版)

●ブルサ県でISILオペレーション

5月27日、ブルサ県警は、ISILオペレーションを行い、12名が拘束した。(5月28日付M紙20面)

●20日ぶりにキリス県でISIL支配地域からロケット攻撃

5月27日、キリス県で、7日以来20日ぶりとなるISIL支配地域からのロケットの着弾があり、5名が負傷した。(5月28日付M紙20面)

●ガジアンテップでもISILのロケット攻撃

5月28日午前10時25分頃、ガジアンテップ県のオウゼリ郡で、ISIL支配地域から発射された2発のカチューシャロケット弾が着弾した。一発は、空中で爆発し、もう一発は、空き地に着弾したが不発だった。トルコ軍は、交戦規定に基づいて、ISILの拠点を砲撃し、104名のISIL戦闘員を殺害したと発表(5月29日付M紙19面)

●トルコ軍と対ISIL有志連合軍の共同空爆でISIL戦闘員40名殺害

5月29日、対ISIL有志連合軍とトルコ軍との共同作戦による、ISIL拠点への空爆によって、カチューシャロケット発射台4機、車両4台、防弾車2台、弾薬庫2カ所を破壊し、ISIL戦闘員40名を殺害した。(5月30日付M紙18面)

●ドルマズラルグループのセルは29人

5月19日ガジアンテップ県で、ISILアジトに対しての捜索中に自爆したガジアンテップ県の「ドルマズラルグループ」と言われるISIL組織のリーダーであるユヌス・ドルマズの配下には、ISILのセル29名がいたことが拘束されたユヌスの弟ハジ・アリ・ドルマズの証言で明らかになった。また、捜索で押収された資料からは、ISIL本部は、ドルマズラルグループに対して、2万5197ドルを送金した。ユヌスは7750ドルをセル構成員に支払い、1650ドルを食費に使い、3290ドルをレンタカーに使い、9247ドルを爆発物の購入に使用した事が判明した。ハジ・アリ・ドルマズは、兄ユヌスに、スルチ事件について訪ねたところ「スルチ自爆テロ事件は、自分のグループが実行した」と言われたという。(5月30日付M紙18面)

●空港でノートパソコン型爆弾への警備強化

ガジアンテップ県でのISIL拠点への捜索の結果、ノートパソコン内部に組み込める爆弾が開発されていたことが判明した。警察は、空港での全てのノートパソコンの検査を実施するよう通達を出した。現在のところ、アンカラ空港、イズミル空港、ボドルム空港、アンタルヤ空港で、ノートパソコンへの検査が始まっている。(5月27日付M紙18面)

●ゲジ公園抗議運動3周年

5月31日はゲジ公園抗議運動3周年となり、警察当局はゲジ公園の周辺をバリケードで封鎖した上、機動隊を配置し同記念日に関連する抗議活動の再発防止に努めた。午後7時頃には、イスティクル通りにおいて数百名の集団が抗議行動を行い、15名が拘束された。(6月1日付C紙10面)



(写真は、6月1日付HD紙インターネット版より)

●4万9343名が入国拒否登録

5月31日、アラ内相は、記者会見で「4万9343名の外国人が、トルコへの入国を拒否された。我々は、彼らにテロリストになってほしくない。また、我々は関係国に入国拒否した外国人の情報を提供した。」旨述べた。(6月1日付HT紙13面)

●キリスでISILのロケットが着弾

5月31日、キリス県の郊外のウナラル村にISIL支配地域より発射されたカチューシャロケット2発が着弾した。本年1月からの着弾数は合計83に上った。

(6月1日付HT紙12面)

●PKKのアジトからアメリカ製対戦車兵器を押収

1日、マルディン県ヌサイビン市において、治安部隊はPKK関係者へのオペレーションを実施したところ、米国とスウェーデンが共同開発した対戦車兵器AT-4がPKKのアジトの共同住宅の1室から押収された。(6月2日付HT紙13面)

軍事

●米軍のYPGバッジ装着にトルコ猛反発

ラッカ進行作戦を進める米軍兵士が、クルド勢力YPGバッジを米軍制服に装着していたことについて、トルコ政府はエルドアン大統領を含め、猛反発した。米軍側は、「YPGバッジの装着は軍の正式な許可を得たものではない。共同作戦を実施するときに、現場部隊レベルで連帯を示すために、相互のバッジを付け合うことはよくある。しかし、政治的に不適切であり、YPGバッジの装着は止めさせた」旨表明した。(HD紙インターネット版)



(写真は、アクティブポスト紙より)

●国際共同演習エフェス2016開始

5月30日・31日両日、トルコ軍、米軍、英軍、ドイツ軍、アゼルバイジャン軍、サウジ軍、カタール軍、パキスタン軍、ポーランド軍が参加しての、国際共同演習Efes-2016がトルコ西部アナトリア地方のイズミル周辺で実施、テロ対策も念頭に置き、実弾を用いた演習が行われた。エルドアン大統領やアカル参謀総長の他、日本を含む世界79カ国軍高官が演習を観閲した。(6月1日付HD紙8面)



(写真同)

●トルコ国産「バンカーバスター」爆弾を生産

トルコの代表的軍需産業であるMKEK社は、F16戦闘機等に搭載して、コンクリートで補強された地下壕を破壊する能力を持つ2000ポンド(907キロ)爆弾、通称バンカーバスターの生産を最近開始した。(6月1日付S紙インターネット版)



(写真同)

●米軍とPYDがトルコ国境沿いのISIL支配地域の掃討作戦を実施、トルコは参加せず

米軍と北シリアのクルド勢力PYDによる、ISILへの大規模軍事作戦については、トルコ軍は参加していないことが確認された。作戦開始前に、米国はトルコ政府に対して、北シリアのトルコ国境近くのManbij Pocketと言われるISIL支配地域への軍事掃討作戦を実施することを通告していた。ISIL勢力をManbij地域から掃討する作戦は、6月1日から始まりSDF(シリア民主軍)が主体となっている。シリア民主軍は、トルコが敵視するPYDが中心となりアラブ人部隊との合同軍であるが、現在のところManbij地域の南側から作戦を実施しており、トルコ軍筋は「トルコ国境から40キロ離れた地域であることから、トルコ軍は支援できないし、政治的にもPYDの作戦を支援することはできない」とロイターの質問に答えた。(6月2日付HD紙インターネット版)



(写真同)

社会

●トプバシュ市長、外交官と第三大橋で記念撮影

エルドアン大統領が8月26日に開通式を予定している建設中の第三大橋を、カディル・トプバシュ市長と65か国の大使、総領事が共に視察し、橋の袂にあるサルエル市ガリブチェで朝食会を行った。市長はイスタンブールの未来に影響する大型プロジェクトについても説明し、「第三大橋の意味は大きく、イスタンブールの交通渋滞を緩和するだろう。」と述べた。また「イスタンブール運河」プロジェクトについては科学的調査が継続中であることに触れ、入札が行われていないのは環境に与える影響の調査がまだ継続中だからだと述べた。(6月1日付HT紙20面)



(写真は6月1日付HT紙インターネット版から)

●イスタンブール市、無料駐輪場を設置

イスタンブール市は短距離移動に車では無く、健康の為に自転車を利用することを推奨している。イスタンブール市が経営するISPARK(駐車場管理会社)はイスタンブール

市全体で屋外駐車場を含むありとあらゆる生活地域と地下鉄の入り口に無料の「駐輪場」を設けるための活動を始めているが、今後更に16の区で148か所、計982台の収容能力のある無料駐輪場を設置し、世界基準に達するよう努めている。特に地下鉄の駅に設置された無料の駐輪場は自転車利用者にとって便利だ。家から駅へ自転車を使い、駐輪し地下鉄を利用。渋滞に巻き込まれることなく、良い運動にもなる。(5月31日付HT紙18面)



(写真は5月31日付HT紙インターネット版から)

●エユップ・スルタン・モスクでラマザンの準備

ラマザンが間近に迫り、イスタンブールのあらゆる所で準備が進められている。各市は通りで振る舞われるイフタル(断食明けの食事)やラマザン月の催しを計画している。ラマザン月に最も多くの人々が訪問するエユップ・スルタン・モスクは昨日500リットルのバラ水で洗浄された。同モスクはラマザン期間中2トンのバラ水を使って清められる。(6月2日付HT紙20面)



(写真は6月22日付HT紙インターネット版から)

●「アラビア語がイスラム世界の溝を埋める」と高官が発言

5月31日にアンカラで教育省宗教教育総局が企画したインターナショナル・スクール間で行われた「アラビア語弁論大会」の受賞式の席で、ナジフ・ユルマズ局長はアラビア語がイスラム圏の人々を一つにまとめる架け橋となると発言した。また、アアーウルアクチャ・マルディン大学教授はアラビア語が世界的にイスラム共同体の復興の助けとなり得るとし、「アラビア語だけではなく科学も教えているイマム・ハティップ高校(宗教教育に重きを置いたトルコ独特の学校)高校に大変期待している。」と話している。トルコでは938のイマム・ハティップ高校、917のイマム・ハティップ中学、トルコが中心となっている4つの国際宗教学校、14のアラビア語学校が「アラビア語弁論大会」に参加、約2万5千人の生徒が大会に備えた。第7回「アラビア語弁論大会」はコーランの朗読とトルコ国歌で5月29日に始まった。学生は「イスラムの魅力と文化の鍵と言われるアラビア語のトルコにおける重要性を示している」と、アラビア語を勉強することの重要性を訴えた。生徒たちはアラビア語に関する知識、詩の暗記などの種々の分野で競い合い、30を超えるトルコ人学者の審査員の他、クウェート、カタール、サウジアラビア、アルジェリア、ヨルダン、パキスタンからも専門家が審査に加わった。(6月2日付TZ紙3面)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	ÖSB	PKKの防衛隊
AKP	公正発展党（現与党）	OIB	首相府民営化管理庁
BDDK	銀行監督庁	PKK	クルディスタン労働党
BDP	平和民主主義党（クルド政党）	PYD	シリア民主主義連合党
BOT	建設・運営・譲渡方式	RP	福祉党
CHP	共和人民党（最大野党）	RTÜK	ラジオ・テレビ高等機構
DEP	民主党	SNC	シリア国民評議会
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	SPK	証券取引監査院
DHMI	国家航空局	SSM	防衛産業庁
DISK	先進労働組合連合	TBB	トルコ弁護士協会／トルコ銀行協会
DTK	民主主義社会評議会	TCDD	トルコ国鉄
DTP	民主社会党	TDHB	トルコ歯科医師会
DYP	正道党	TESK	トルコ商工業連合
EDAM	経済外交政策センター	THY	ターキッシュ・エアラインズ
EPDK	エネルギー市場監督庁	TİKKO	トルコ労働者・農民解放軍
HDP	人民民主党（クルド政党）	TMMOB	トルコ・エンジニア・建築会議連盟
HSYK	裁判官・検事高等委員会	TOKİ	トルコ集合住宅開発局
İDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOMA	放水装甲車
İHH	人権・自由・人道支援団体	TPAO	トルコ石油公団
İKSV	イスタンブール文化芸術財団	TTB	トルコ医師会
İSO	イスタンブール産業会議所	TÜBİTAK	トルコ科学技術研究機構
İşİD	イラク・レバントのイスラム国（アルカイダ系）	TÜİK	トルコ統計庁
İTO	イスタンブール商工会議所	TÜPRAS	トルコ石油精製会社
KCK	クルディスタン共同体同盟（PKK系）	TÜSİAD	トルコ産業・実業家協会
KESK	公務員労働組合連合	TÜVİD	トルコ投資家関係協会
KRG	北イラク政府	YÖK	トルコ高等教育評議会
MHP	民族主義者行動党（野党）	YSK	選挙高等委員会
MIT	国家諜報機関		

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Akşam	A	Economist	EC	Anadolu News Agency	AA
Cumhuriyet	C	International New York Times	INYT	Agence France Presse	AFP
Haberturk	HT	Hürriyet Daily News	HDN	Cihan News Agency	CA
Hürriyet	H	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M			Ihlas News Agency	IA
Posta	P			Interpress	IP
Radikal	R				
Sabah	S				
Taraf	T				
Vatan	V				
Zaman	Z				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2016.1.1～2016.6.2 ※総領事館に訴出があったものを集計								
年	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2015年		8件		6件		20件		9件
2016年	0件	1件	0件	2件	1件	12件	0件	1件

- 今週は、ぼったくりバーの被害が1件ありました。

★当館 HP 更新のお知らせ★

- キャウトハーネ ITO 職業技術アナドル高校日本文化祭の開催 (5/30) **NEW**
- 第6回芸文館「生け花講習会」の開催 (5/24) **NEW**
- 熊本地震への義援金・救援金について (5/10) **NEW**
- 治安速報：イスタンブール (05/16)
- 【スポット】トルコ：トルコ国内におけるテロの脅威に関する注意喚起 (05/18) **NEW**